## 公共事業事前評価調書(公共事業事前評価結果整理表)

主要目標番号	2.(3)
対象事業	急傾斜対策事業
主要目標	崖崩れ被害の防止

			個別	引事業の	妥当性	評価			4	業間優先度(	の評価						
									貢献度ラン			副次効果ラ	ンクの評価				
優先順位付け の考え方	対象地区·箇所名	公共関与、事	/77 WAL	事業実施、	整備 手法 の有	環境 負荷	事業計画		過去の災害実績、緊	人家1戸当たり被害軽減額 又は災害時重要公共施設		-		事業間ランク	評価委員会意見	総合意見	評価結果
		業執行 主体の 妥当性	経済効 率性	規模 の妥 当性	の有 効性	への配慮	の熟度	貢献度 ランク	急度、災害発生の危 険度(評点法)	人家1戸当た り被害軽減額	災害時重要 公共施設	副次効果 ランク	評点	,,,			
									点	百万円/戸	有無						
	北杜市高根町長澤 窪長沢の2							а	12.0	43.0	無	1	0	S	-		実施
	南巨摩郡南部町十島 十島							а	12.0	39.0	無	1	0	S	-		実施
	南巨摩郡身延町小田船原 小田船原							а	20.0	39.0	無	1	0	S	-		実施
				ļ	ļ		ļ										
				ļ	ļ												
							<b></b>										
				<u> </u>			<b></b>										
過去の災害実 績、緊急度、災害							<u> </u>										
発生の危険度が 高く、人家1戸当 たり被害軽減額				<u> </u>			<u> </u>										
だり被害軽減額 が大きい地区を 優先する。				<u> </u>													
132707 00				<u> </u>													
				<u> </u>													
					<b></b>												
				<u> </u>	J												
				·	J												
		ļ	ļ	·	J												
				<u> </u>									<b></b>				
			······				<del>}</del>										
	•	•						基準値	10	39	有	基準値	0.0			•	•

## 副次効果評価調書

<b>主要</b>	主要目標番号 2.(3)							
					主要目標に対応する副次効	所で想定され	評価の説明	評価結果
評価	対象地[	区⋅箇所名			果項目	る副次効果		
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上				
		1 六温	の利便性の	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのア クセス向上				
		向上	の利民主の	(3) 市街地内の交通の円滑化				
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上				
	· 県			(4) 向上				
	民生活の			(1) 森林機能の維持・向上				
	活の			(2) 憩い空間の創出				
	豊か			(3) 生活排水処理機能の向上				
	さと経	- 2 生活	環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保				
	済	2.274	-K-75-071-3-I					
	の発展			(5) 適正な居住空間の確保				
	조			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
	支え			(7) 道路景観の向上				
主要	支える基語			(1) 中山間地域等の農村生活·生産機能 の向上				
主要目標項	密充			(2) 農業生産力の向上				
項目	実	- 3 農林	水産業の振					
Ħ		興	小庄来07派	(3) 農業用排水能力の向上				
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
				(1) 歩行者等の安全性の確保				
				(2) 災害に強い道路の確保				
	暮	- 1. 父週 向上	の安全性の	(3) 都市災害防止				
	b			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	らしと経済							
	済 活 動			(1) 洪水被害の防止				
	D	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(2) 土石流被害の防止				
	安全			(3) 崖崩れ被害の防止				
	性確			(4) 地滑り被害の防止				
	保	2 自能	神宝の除止					
		- 3 . Fig EA		(1) 鳥獣被害の軽減				
	수 '로 되	/东州		ナル機能の強化				
	交通利	更注	アクセス機能	パイントの解消				
			水質の浄化					
			大気汚染の					
			騒音·振動の					
			良好な景観					
			バリアフリー	-化の促進				
	生活環	境	ライフライン	の強化				
			身近な緑地	・交流の場の提供				
			飲雑用水の	安定供給				
			糞尿の処理					
				ン学習等活動の支援 - アスト・ログ				
副				)円滑な提供				
	自然環	境	水源涵養機 生態系空間					
果項目				院遮断帯の確保				
目				発達・ 発達・ 発動・ 発動・ 発動・ 発動・ 発動・ 発動・ 発動・ 発動				
	事故∙₺	災害防止		智能の関係の関係を表現しています。				
				崩壊危険性の排除				
			走行安全性					
			林業生産力	の向上				
			遊休農地の	解消				
	生産性		新たな公共	用地の創出				
			農地の保全					
			農林産物の					
				ギーの活用				
			リサイクルの					
	その他			的資源等の保存・復元				
			他事業との					
Щ			里安ノロジ	ェクトとしての位置づけ		<u> </u>	副次効果	
								0

## 副次効果評価調書

工委員僚に対「対象地区・国	主要目標番号 2.(3)								
### 1		主要目標 崖崩れ被害の防止				応する副次効	所で想定され	評価の説明	評価結果
### 200 Hand State	評価を	対象地[	区·箇所名	南巨摩郡南	部町十島 十島	果項目	る副次効果		
### 200 Hand State					(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上				
BETURE 1			4 75 78	の利用性の	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのア				
# PUT DE CO P			- 1.交通 向上	の利便性の					
# 20									
# 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		· 県			(4) 向上				
# 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		民生			(1) 森林機能の維持・向上				
# 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		活の			(2) 憩い空間の創出				
# 1		か			(3) 生活排水処理機能の向上				
# 1		<del>خ</del>	- 2 生活	環境の向上					
# 2		済	2.11	-K-75-071-3-I					
# 2		の 発			(5) 適正な居住空間の確保				
# 1		조			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
### ### ### ### #####################		支 え			(7) 道路景観の向上				
### ### ### ### #####################	主要	る 基			(1) 中山間地域等の農村生活・生産機能				
대	目標	密充							
	項目	実	- 3 . 農林	水産業の振					
변	П				(3) 農業用排水能力の同上				
### 200					(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##					(5) 森林整備の効率化				
1					(1) 歩行者等の安全性の確保				
Paul			1 六涌	の字令性の	(2) 災害に強い道路の確保				
1		暮		の女主任の	(3) 都市災害防止				
# 20		ا د							
# 20		経済							
### ### ### #########################		活動							
1		D			(2) 土石流被害の防止				
### ### ### ### ### #################		全性			(3) 崖崩れ被害の防止				
1		確			(4) 地滑り被害の防止				
交通利便性   子のセス機能の維持   主要法書ポイントの解消   上来の浄化   大変の浄化   上来の浄化   上来の浄化   上来の野球   日本の中に		IA.	- 3 . 鳥獣	被害の防止	(1) 鳥獣被害の軽減				
交通利便性   子のセス機能の維持   主要法書ポイントの解消   上来の浄化   大変の浄化   上来の浄化   上来の浄化   上来の野球   日本の中に				交通ターミ					
大質の浄化		交通利	]便性						
大気汚染の軽減   接音・振動の軽減   接音・振動の軽減   接対な素観の創出   1				主要渋滞が	ペイントの解消				
### ### ### ### ### ### #### #### ###				水質の浄化	Ś				
長行な景観の創出				大気汚染の	)軽減				
# 1				騒音·振動	の軽減				
### ### ### ### #####################									
Pac									
飲油用水の安定供給   現場の処理   日本のでは、学習等活動の支援   日本のでは、学習等活動の支援   日本のでは、学習等活動の支援   日本のでは、学習等活動の支援   日本のでは、学問をでは、		生沽埌	境						
関係の処理     地域の文化・学習等活動の支援 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>									
地域の文化・学習等活動の支援   日然環境   日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日									
各種情報の円滑な提供   一日									
日外環境									
項目   防火帯・延焼遮断帯の確保 <td< td=""><td>副次</td><td>ᆸᄽᅲ</td><td>148</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	副次	ᆸᄽᅲ	148						
項目   防火帯・延焼遮断帯の確保 <td< td=""><td>効果</td><td>日然境</td><td></td><td>生態系空間</td><td>の再生</td><td></td><td></td><td></td><td></td></td<>	効果	日然境		生態系空間	の再生				
事故・災害防止   緊急時の避難・救助機能の確保      既存施設の崩壊危険性の排除      走行安全性の確保      林業生産力の向上      遊休農地の解消      農地の保全      農林産物の販売促進      日然エネルギーの活用      リサイクルの推進      文化・歴史的資源等の保存・復元      他事業との一体施工      重要プロジェクトとしての位置づけ   副次効果	項			防火带·延	焼遮断帯の確保				
既存施設の崩壊危険性の排除   走行安全性の確保   林業生産力の向上   遊休農地の解消   無地の保全   農林産物の販売促進   自然エネルギーの活用   リサイクルの推進   文化・歴史的資源等の保存・復元   他事業との一体施工   重要プロジェクトとしての位置づけ	П			緊急時の避	<b>発・救助機能の確保</b>				
走行安全性の確保      林業生産力の向上      遊休農地の解消      無地の保全      農林産物の販売促進      自然エネルギーの活用      リサイクルの推進      文化・歴史的資源等の保存・復元      他事業との一体施工      重要プロジェクトとしての位置づけ   副次効果		事故∙₺	災害防止						
本産性   林業生産力の向上     遊休農地の解消   第たな公共用地の創出     農地の保全   農林産物の販売促進     その他   自然エネルギーの活用 リサイクルの推進   リサイクルの推進     その他   文化・歴史的資源等の保存・復元     他事業との一体施工   重要プロジェクトとしての位置づけ     副次効果									
生産性 遊休農地の解消   無地の保全 農林産物の販売促進 無林産物の販売促進   自然エネルギーの活用 リサイクルの推進 リサイクルの推進   その他 文化・歴史的資源等の保存・復元 他事業との一体施工 重要プロジェクトとしての位置づけ 調次効果									
生産性 新たな公共用地の創出 農地の保全 農林産物の販売促進   自然エネルギーの活用 リサイクルの推進 リサイクルの推進   その他 文化・歴史的資源等の保存・復元 他事業との一体施工 重要プロジェクトとしての位置づけ									
農地の保全 農林産物の販売促進   自然エネルギーの活用 リサイクルの推進   その他 文化・歴史的資源等の保存・復元   他事業との一体施工 重要プロジェクトとしての位置づけ		生産性	:						
農林産物の販売促進   自然エネルギーの活用     リサイクルの推進   ウ化・歴史的資源等の保存・復元     他事業との一体施工   重要プロジェクトとしての位置づけ     副次効果		/-=  1							
自然エネルギーの活用									
ササイクルの推進   文化・歴史的資源等の保存・復元     他事業との一体施工   世事業プロジェクトとしての位置づけ     重要プロジェクトとしての位置づけ   副次効果									
他事業との一体施工 重要プロジェクトとしての位置づけ 副次効果				リサイクルの	の推進				
重要プロジェクトとしての位置づけ 副次効果		その他		文化·歴史的	的資源等の保存・復元			_	
副次効果				他事業との	一体施工				
				重要プロジ	ェクトとしての位置づけ				
									0

## 副次効果評価調書

主要目標番号 2.(3)				. (3)				1
	主要目標 崖崩れ被害の防止				主要目標に対応する副次効	所で想定され	評価の説明	評価結果
評価					果項目	る副次効果		
				(1) 生活圏中心都市・拠点機能へのアクセ ス向上				
		1 六温	の利便性の	(2) 市町村中心地・大規模拠点施設へのア クセス向上				
		向上	の利民主の	(3) 市街地内の交通の円滑化				
				(4) 集落間・小規模拠点施設へのアクセス 向上				
	· 県			(4) 向上				
	民生活の			(1) 森林機能の維持・向上				
	活の			(2) 憩い空間の創出				
	豊か			(3) 生活排水処理機能の向上				
	さ と 経	- 2 生活	環境の向上	(4) 良好な市街地空間の確保				
	済	2.274	-K-75-071-3-I					
	の発展			(5) 適正な居住空間の確保				
	조			(6) 歩行者等の通行空間の確保				
	支え			(7) 道路景観の向上				
主要	支える基準			(1) 中山間地域等の農村生活·生産機能 の向上				
主要目標項	整充			(2) 農業生産力の向上				
項目	実	- 3 農林	水産業の振					
Н		興	小庄来07派	(3) 農業用排水能力の向上				
				(4) 農林水産業経営の合理化(非公共)				
				(5) 森林整備の効率化				
				(1) 歩行者等の安全性の確保				
				(2) 災害に強い道路の確保				
	暮	- 1. 父週 向上	の安全性の	(3) 都市災害防止				
	5 U			(4) 交差点の安全性、円滑性の向上				
	らしと経済							
	済 活 動			(1) 洪水被害の防止				
	മ	- 2.洪水·土砂被害 の防止		(2) 土石流被害の防止				
	安全			(3) 崖崩れ被害の防止				
	性確			(4) 地滑り被害の防止				
	保	2 自能	神宝の除止	(1) 鳥獣被害の軽減				
		- J . Amp mA						
	交通利	<b>/</b> 西#+	父週ターミス アクセス機(	ナル機能の強化				
	又進利	使任		パイントの解消				
			水質の浄化					
			大気汚染の					
			騒音·振動の					
			良好な景観	の創出				
			バリアフリー	-化の促進				
	生活環	境	ライフライン	の強化				
				・交流の場の提供				
			飲雑用水の					
			糞尿の処理					
				公・学習等活動の支援				
副				かの点 と				<u> </u>
次効果	自然環	境	水源涵養機 生態系空間					
項				焼遮断帯の確保				
É				発 ・ 救助機能の確保				
	事故:	災害防止		智能の関係の関係を表現しています。				
				崩壊危険性の排除				
			走行安全性					
			林業生産力	の向上				
			遊休農地の	解消				
	生産性		新たな公共	用地の創出				
			農地の保全					
	<u> </u>		農林産物の					
				ギーの活用				
	<u> </u>		リサイクルの					
	その他			的資源等の保存・復元				
			他事業との					
Щ	<u> </u>		里安ノロジ	ェクトとしての位置づけ		<u> </u>	副次効果	
								0

	:急傾斜地崩壊対	付策事業		窪長沢の2	小田船原	十島						
過去の災害	害実績·緊急度		評点	2	8	0	0	0	0	0		
	(1) 直近のが	け崩れ発生の有無										
	` ,	S 発生から3	4		4							
		S 発生から3 B 過去にあり	2									
	(2) 過去10年間	間の実績被害										
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	人的被害の状況										
		S 死者·行方	4									
		A 負傷者あり	3									
		最大被災戸数										
		A 2戸以上	3									
		B 1戸	2		2							
		重要な公共施設等										
	<b>[</b>	A 有り	3									
		災害弱者関連施設										
		A 重要施設(	3									
		B 有り	2									
	(3) 過去10年間	間の避難実績(自主避										
		B 有り	2	2	2							
災害発生の			評点	10	12	12	0	0	0	0		
	(1) 斜面の高さ	さ(危険区域内におけ										
	, ,	B 30m以上	2	2	2	2						
	(2) 斜面の平均	匀勾配(危険区域内										
		A 45度以上	3			2						
		40~45度	2		2							
		B 未満			2							
	(3) 斜面形状		-									
		谷地形又	1	1								
		C は凸状	l									
	(4) 遷急線(勾	配の変化	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									
		B 明瞭	2	2	2	2						
	(5) オーバー/											
		B あり	2									
	(6) 地盤の状況	兄										
		A 崩積土·火	3	3	3	3						
		B 段丘堆積物	2									
		C 軟岩	1									
	(7) 湧水の有類	₩										
		A 常時あり	3		3							
		B 降水時にd	2	2		2						
		C 斜面が常l	1									
	(8) 植生の状況	兄										
		C 生育状況	1			1						
	災害弱者関連施設の		計	12	20	12	0	0	0	0		
		力は数が国数かせがつ	45±00 \ C	7 1 12 1 -	· · → · · · ·	_				_	_	

高齢者、障害者等自力避難が困難な方が24時間入居・入院している施設